

第1回 日本災害医療ロジスティックス研修
10月14日～10月16日

岩手県庁 活動報告

Aチーム 『ぎゅうたん』

○ 島崎 哲弥 大江 昭典 明星 正人
越後谷 和美 山内 聡 萩平 順一
関根 寛 遠藤 忠雄

出発前



リーダー; 関根 寛
この笑顔がどうなるか...

11:50 県庁到着



12:05 本部レイアウト開始



途中で何度かレイアウトを変更しました

衛星電話設置



危険な場所での設置、高いところが苦手なリーダーが・・・
窓の外でしか、南側の方角は確保できませんでした

資機材設置（担当；萩平 順一）

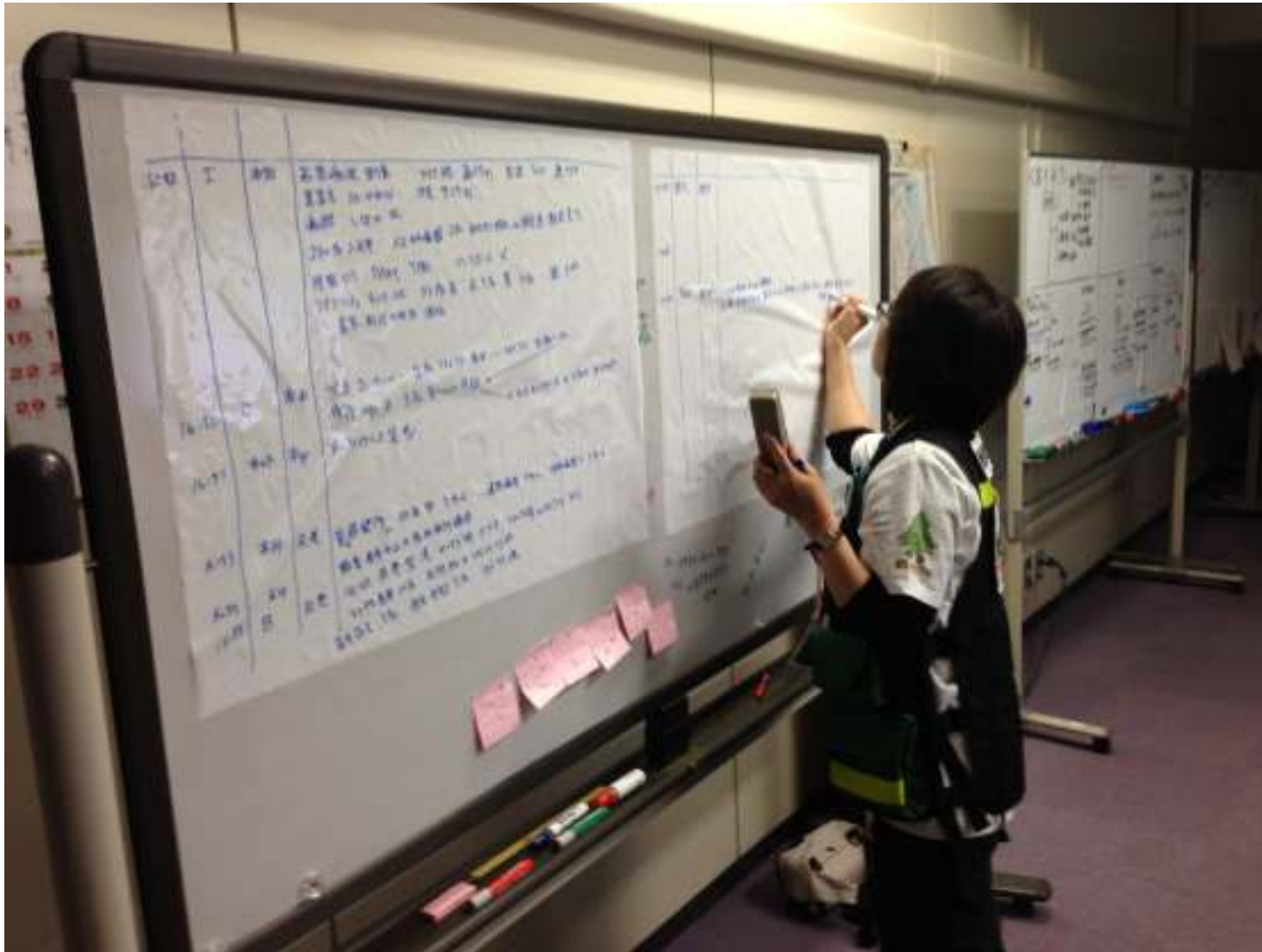


おかげで県庁からも資機材をお借りできました
ホワイトボード、プロジェクター、スクリーンなど

12:38 本部活動開始

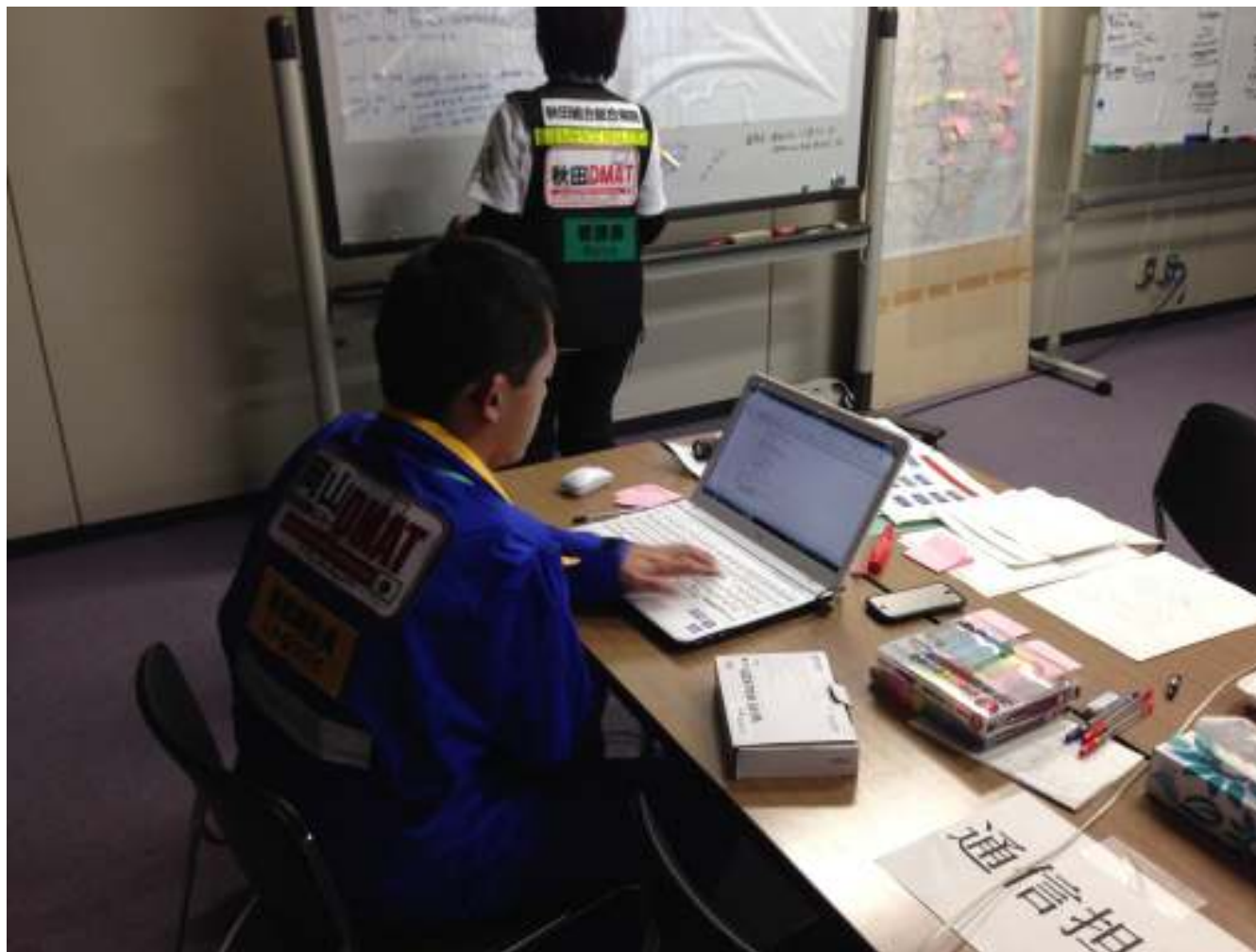


クロノロジー(担当;越後谷 和美 ♡紅一点♡)



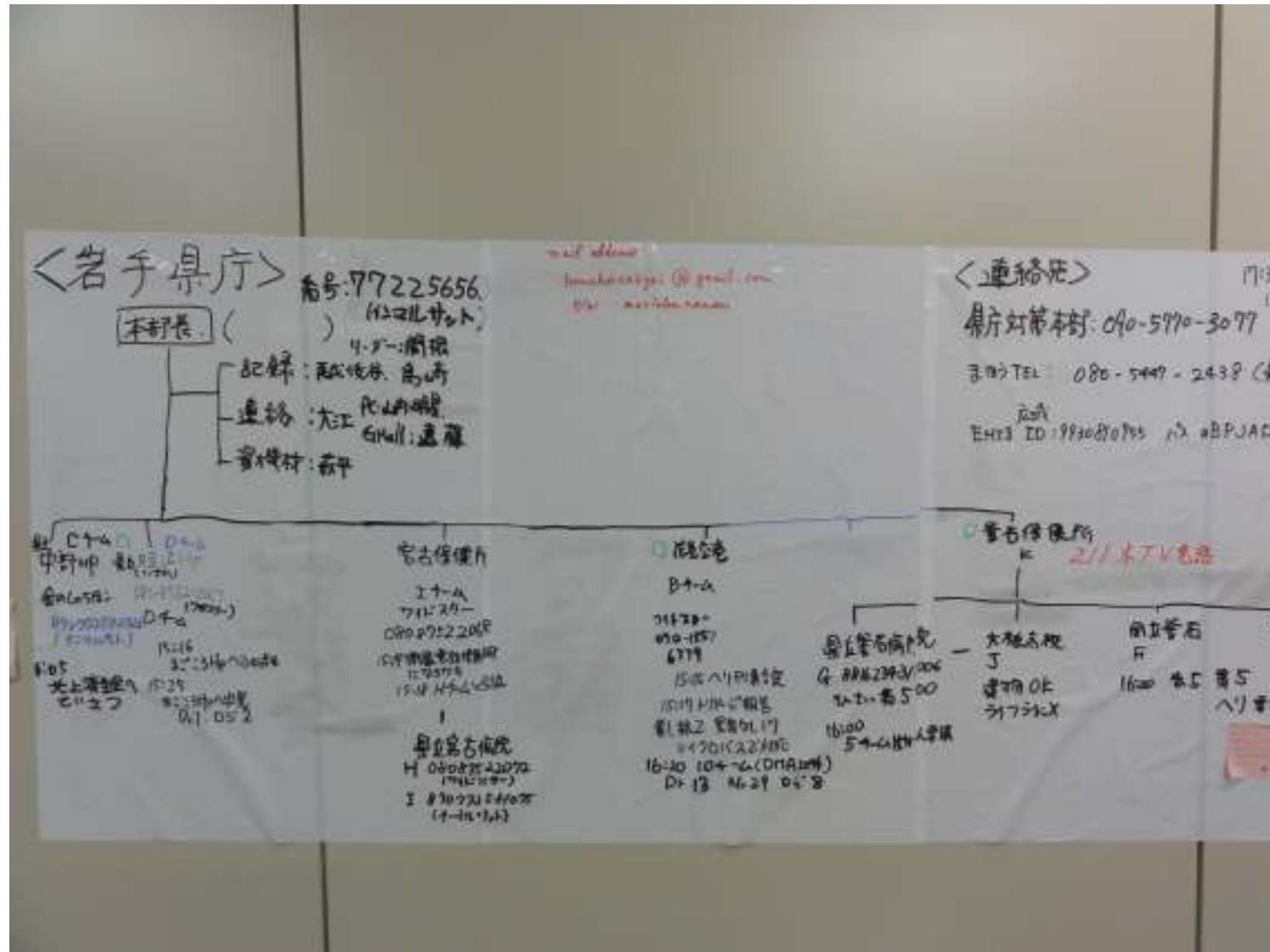
交代もなく、最初から

クロノロExcel入力(担当;明星 正人)

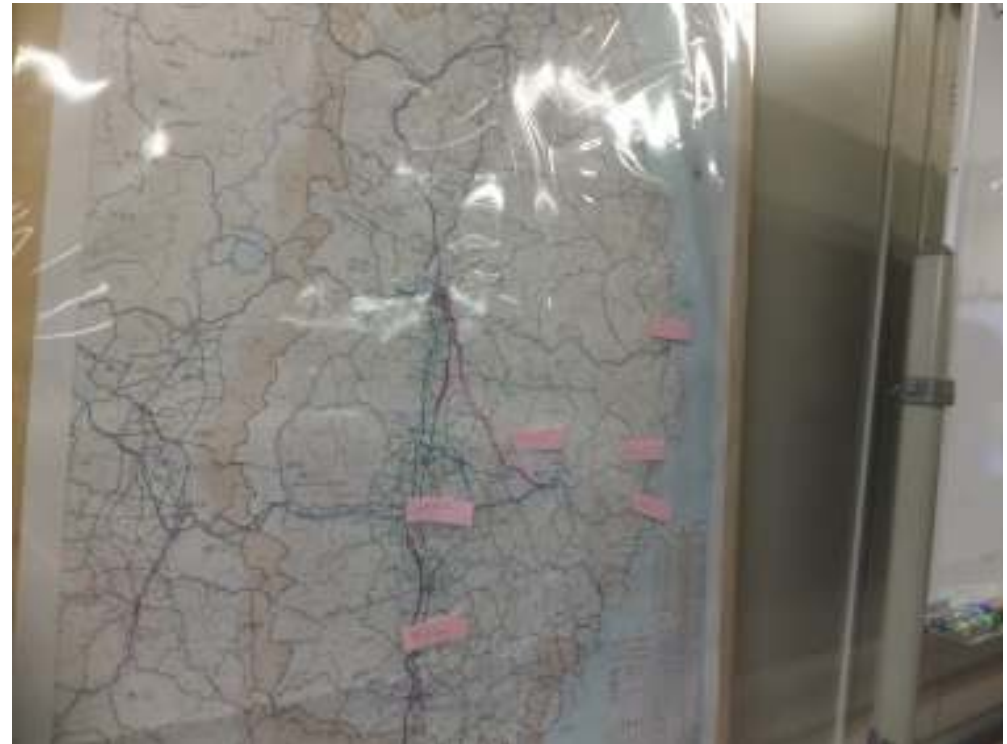


明星さんのご施設の衛星電話でパケット通信
いくらになるのか・・・

組織図



地図上に状況をマッピング



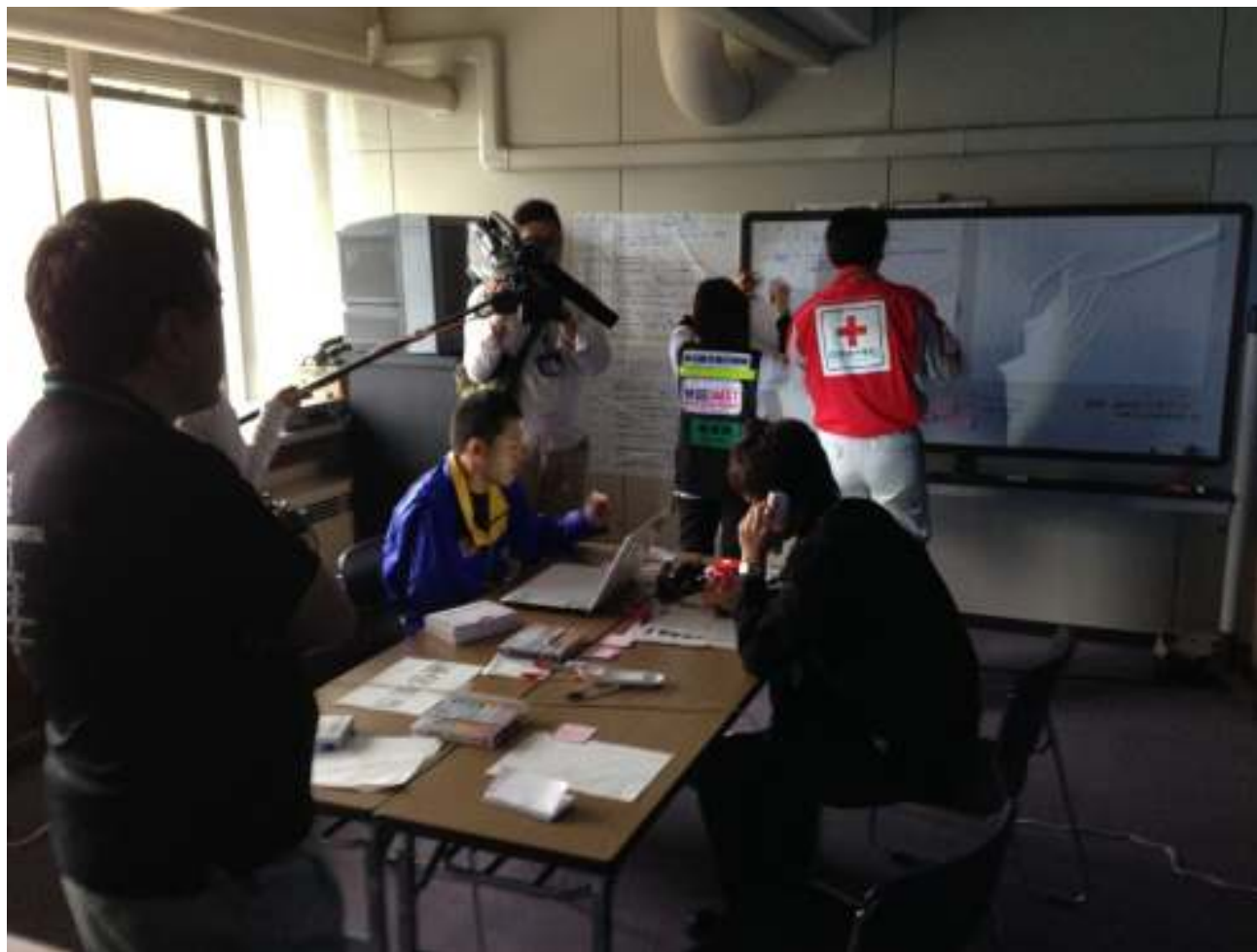
各拠点の位置
交通情報を整理

節電にて照明が落ち、暗い中で活動



ハンドライトを利用し照明にしました

通信・連絡(担当;大江 昭典)



繋がったり、繋がらなかったり・・・

1台しか設置できず、連絡が

EMIS入力本部登録、EMIS管理 (担当;島崎 哲弥)



衛星電話でのネット環境、窓際での作業は寒い

宿の手配

新規メールアドレス取得(担当;遠藤 忠雄)



おかげでホテルに宿泊できました

人員の再配分

一応記録係しかし、何にでも対応(担当;山内 聡)



人員の再配分
記録、通信など何にでも対応していただきました

CISCOを利用しての通信



釜石保健所との連絡に用いました

16:45 日報作成

岩手県ロジスティック研修 日報

年 月 日

チーム名

活動場所

本日の活動内容

明日の活動方針

本日の問題点（体調・活動等）

夜間待機場所

夜間連絡先

メールアドレスを体制管理（DMAT管理メニュー）へ入力
他の活動場所とメール通信

18:30 宿での本部設営



県庁での活動の後、ホテルで設営することに
県庁の活動は終わらない、24時間対応のシフト制

ホテル本部



ホテルの部屋を本部へと変更
部屋ごとに役割を分けて活動

ホテルから南の方角を確保



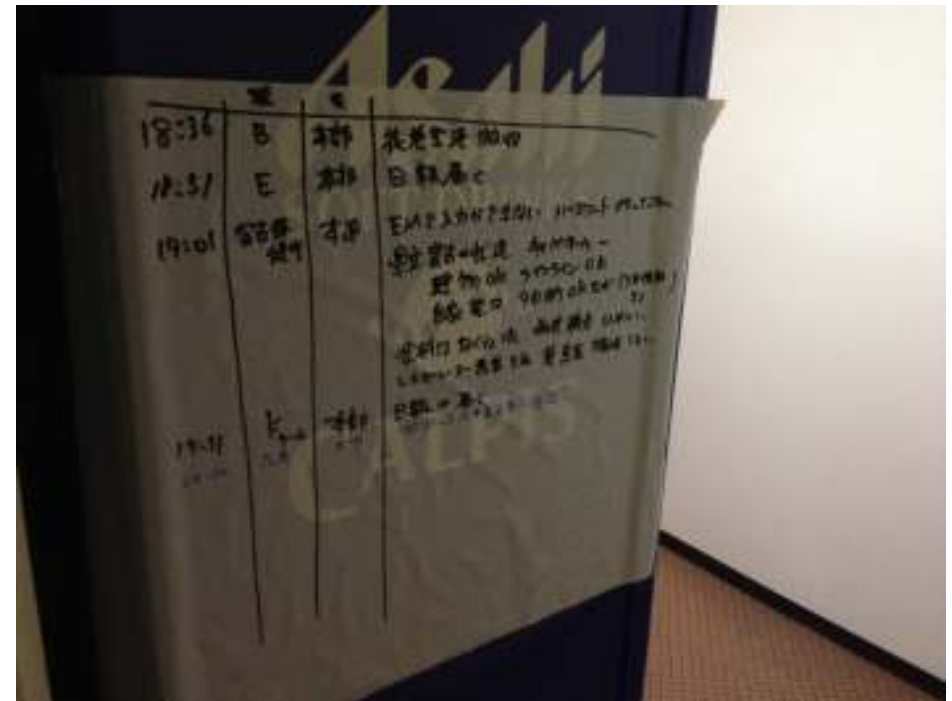
11階だったので遮閉されることがなかった。
ホテルに交渉し、非常口を利用して南側の向きを確保
(他のお客さんに迷惑にならないように、21時まで)

ホテルで衛星電話設置



段差があったのでおかゆの缶を利用
2名体制で

ホテルでのクロノロ



衛星電話と本部部屋との間で記入
自動販売機を利用しました

訓練終了～



22:45頃 ある程度の活動終了 皆ぐったり・・・
リーダーから、笑顔が消えました

資機材面について

- 電源確保の面のケーブル不足
- 照明の確保（日中の節電への対応）
- 衛星電話とのケーブル短い
- PCとのLANケーブルの長いものが必要
- 衛星電話の設置台数が少ない 台数不足
様々な機種が必要
- 事務用品はある程度余裕が必要

本部レイアウトについて

- 衛星電話の設置位置を決め、レイアウト開始
- 記録と通信は近くに配置した
- 自分の荷物がテーブルに置いたままになっていた。荷物はしっかり整理し、端に寄せるなどの配慮が必要
- 途中でプロジェクター等の場所を変更

反省点

- リーダーとしての広い視野が必要。一步引いて、活動に参加したくなるが我慢。
- 一つの業務に専念するのではなく、兼任しながらの作業をしなければならない。
- クロノロはチーム名等に統一性がなかった。
- 役割を変更しながらの業務で多忙。どの役割もこなさなければならない。
- チーム内の後方支援、ホテルの宿泊等の確保を念頭におきながら活動が必要。
- 連絡、聞く内容等を統一する。確認することが必要。定時報告等の確認が不足した

皆様ありがとうございました

